

各委員意見集約

1. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

【目標 I 自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関わり、新しい時代を生きる力を育てる】

基本方針1 新しい社会で生きる力の育成(原案9～15ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	子どもたちの学びだけではなく、教員の学びの機会である研修・講習会は継続すべきであると考えます。コロナ禍が継続していても、オンラインなどでの実施を望みます。	意見	次長班	▶新型コロナウイルス感染症対策として研修会の開催方法が一堂に会する集合型研修からZOOMやTeamsを活用したオンライン研修やYouTube等を視聴するオンデマンド研修に開催方法が変わってきて、このことにより教職員は研修に参加しやすくなりました。現在も行っていますが、教職員が自分のニーズに合った研修に参加できるよう研修情報を適宜学校に情報提供していきます。
2	向田	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な研修が予定通りに実施出来なかったと思われます。今後の環境ははかり知れませんが、ZOOM等のツール使用など工夫をしながら研修の継続を望みます。	意見	次長班	▶同上(上記意見と関連するため)
3	伊井	ALT配置においても、地域格差が無いように実施への配慮を望みます。	意見	学校教育課 総務企画課	▶コロナ禍により来日出来ずにいたALTの来日日程が決定し、本来の正規ALT4人の体制に戻ることとなりました。 ▶4人のALTを地域状況や学校規模により配置しており、学校間による偏在はないものと考えていますが、今後も子どもたちが外国語へ関心意欲を持ち、コミュニケーション能力の向上が図られるよう取り組んでまいります。
4	向田	施策4 理数教育の充実で「普段の生活との関連を意識した授業の充実」とありますが、普段の生活とかけ離れたものでいいのではないかと思います。宇宙が知りたい、ミクロの世界が知りたいなど、子供たちが興味を持てるきっかけとなる授業をして頂くことで「知りたい・面白い」の探求心が学習の意欲を生むのではないのでしょうか？	意見	次長班	▶理数教育の充実は、日本の子どもたちの理数教育に対する関心の低さ等が課題であるとして学習指導要領のポイントの一つとして掲げられております。 ▶授業への意識づけは様々な切り口があっても構わないのですが、できるだけ多くの児童生徒が興味をもって授業に関われるようにという視点から「日常生活と関連性の深い」題材や課題提示について意識して取り組むこととしております。
5	伊井	子どもたちのニーズに即したICT機器の活用事例の共有が一層必要になりますね。	意見	学校教育課 次長班	▶1人1台端末の活用状況については、各学校の学校ホームページでもご確認いただくことが可能です。 ▶学年や発達段階によって若干の差はありますが、学校訪問等でも有効に活用していることが確認できました。 ▶ICT機器の活用に限らずTeamsを活用した情報交換や会議も容易に開催できるようになりましたので、今後一層活用が進んでいくものと考えております。
6	大橋	全児童生徒一人一台端末が整備され、授業等で活用されていることを評価します。今後も授業での効果的な活用の推進を期待します。	意見	学校教育課 次長班	▶同上(上記意見と関連するため)
7	伊井	職業体験について、柔軟な実施方法のモデルケースを各学校と共有できれば良いですね。	意見	次長班	▶市教委では、これまでも学校におけるキャリア教育の一環として、中学校段階での職場体験学習の取組を推進しており、小学校での街探検、職場見学等から高等学校へのインターンシップ等へと体験活動を系統的につなげていく意味で重要な教育活動として位置付けています。 ▶これからは生徒の健康・安全を最優先にし、直接体験できない場合はそれに代わる活動の保障や、オンラインでの講話の視聴などの実施の工夫を考えてまいります。

8	向田	施策6 キャリア教育の充実 様々な体験を子供たちに与える事は、社会の仕組みを知るうえでとても重要と考えます。 引き続きより多くの機会が提供されることを望みます。	意見	次長班	▶同上(上記意見と関連するため)
---	----	--	----	-----	------------------

基本方針2 学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進(原案16~18ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	学校と家庭や地域との連携を推進する人材発見や育成のための具体的な方策が提示されることを期待します。	意見	社会教育課	▶学校と地域の連携を推進する地域コーディネーターとなる地域人材確保については、R2年度までは元教育関係者に人材を求めてきましたが、今後は町内会等の地域内ネットワークも活用して様々な人材を求めていきます。また人材育成については先行事例を参考にしたり、道から助言を受けながら具体的な事例収集や分析を行って、コーディネーターの研修を実施し資質向上に努めてまいります。
2	伊井	学校運営協議会の先行事例を市内で共有する制度設計を望みます。	意見	総務企画課 社会教育課	▶令和2年度は、石狩八幡小と厚田学園の2校で先行実施した取組と検証結果のほか、道内で先行で導入している学校の取組内容等について、定期的に開催しています校長研修会及び教頭研修会において共有が図られています。令和3年度全校一斉導入については、コロナ禍において活動が制限されましたが、概ね1回目の協議会が開催されている状況にあります。 ▶先行事例について活動事例集を参考にしたり道からも助言をいただきながら運営委員会で事例を紹介し、地域の実情に合ったものを取り入れられるように今後進めていきたいと考えております。
3	大橋	市内全学校にコミュニティスクール導入が進められています。地域コーディネーターの確保とともに、組織づくりについて地域と一体となった推進を期待しています。	意見	総務企画課 社会教育課	▶引き続きコミュニティスクールの発展のために、各CS運営協議会に地域コーディネーターを配置し、地域に根付いていく継続的な取り組みを行うことができるよう持続可能な体制を整備していくことが必要であると考えています。
4	向田	施策全体を通して、地域で学校を運営し子供たちを育てていくという方向性に共感いたします。様々な家庭環境の中、地域や公的手段がどこまで関与すべきなのかという問題もあると思いますが、石狩の子供たちを地域皆ですこやかに育てたいものです。	意見	社会教育課	▶今後も引き続き学校との連携を図りながら「あい風寺子屋教室」や「情操教育プログラム」などを通して、地域の子ども達への様々な文化・体験活動や学習支援に貢献していきたいと考えております。

基本方針3 学びをつなぐ学校づくり(原案19~24ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	学校ホームページへのアクセス数など、情報発信の効果も今後は検討する必要があるのではないのでしょうか。	質問	学校教育課	▶開かれた学校を目指すためには、学校ホームページの充実は不可避のものと考えております。 ▶ホームページの更新頻度が高くなれば、おのずとアクセス数も上昇すると思われ、今後も更新率(更新回数/登校日)の維持上昇に努めます。また、地域住民の方々にも見てもらえるよう、学校だより等を通じて周知に努めます。
2	伊井	トイレも含め、学校施設の長期的な維持管理に向けた長寿命化計画を市民にもわかりやすく発信することを望みます。	意見	総務企画課	▶市ホームページへ長寿命化計画を掲載し、情報発信しております。

3	向田	施策13安全な学校づくりを目指した環境の整備 不審者情報が多い中、通学路の安全確保、安全な居場所作りの充実を望みます。	意見	教育支援課 総務企画課	▶不審者対応については、情報を入手した段階で学校、関係機関へ情報を提供し共有するとともに、地域の協力による緊急避難場所「こども110番いしかりサポート」による子どもたちの見守りを強化しています。 ▶石狩市通学路交通安全プログラムに基づき通学路の合同点検を継続的に実施するなかで警察等の関係機関とも連携しながら安全性の向上を図っています。
---	----	--	----	----------------	---

【目標Ⅱ 思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる】
基本方針4 健やかな成長を促す取組の推進(原案25～31ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	コロナ禍にあっても授業公開が推進できる方策の策定の検討を望みます。	意見	次長班	▶各学校では感染状況によっては、参観日を分散で実施するなどの工夫を行い可能な限り授業公開を行うように努めております。
2	向田	施策17 道徳教育の充実 保護者への道徳授業の公開とありますが、「いじめ・虐待・差別」などの学校現場が抱える問題を保護者に向けて講習会や子供たちと共に授業に参加し意見交換会を行って頂きたいです。 親が変わらないと、子供が変わらないところまで来ていると考えます。	意見	次長班	▶参観日等で保護者が授業に参加する場面が全くないとは言えませんが、授業は子どもたちに対してのものであり、どのような活動を入れてもよいというものではありません。 ▶目の前の子どもたちが委員が心配されている親の姿にならないためにも、学校教育における道徳教育の充実が重要であると考えます。 (保護者に向けての講習会等は社会教育やPTA活動の範疇かと思えます。)
3	伊井	授業での市民図書館・学校図書館・司書の一層の活用・活躍を望みます。	意見	市民図書館	▶調べる学習コンクールの実施をはじめ、図書館の本を活用した学習が定着するよう、各校と連携を取りながら、学校司書とともに対応策を検討してまいります。
4	大橋	「あい風寺子屋教室」が、コロナ禍の中、感染防止対策をして工夫して実施されていることを評価します。今後も地域の方と連携した取り組みの推進を期待します。	意見	社会教育課	▶今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら地域の方々に指導をお願いし、様々な文化・体験活動プログラムや学習支援を実施していきます。
5	伊井	児童館でのコロナ感染対策をした上での体験活動の再開を願っています。	意見	子ども政策課	▶児童館では、定期的に換気を行ったり、様々な活動において一定程度距離をとる、人数に制限を設けるなどの感染対策を行っております。これまで体験活動は市の行事同様に実施を控えてまいりましたが、今後は市内の感染状況などを踏まえ、しっかりと感染症対策を行いながら体験活動の再開を検討してまいります。
6	伊井	オンライン／対面、両方での学校間交流を望みます。	意見	次長班	▶基本的には、直接交流ができるのであれば、その方が生きた交流ができると思いますが、感染状況等を踏まえつつ、交流を中止するのではなく、実施の方向で考えるときの方法の一つとしてオンラインも可能ではないかと考えます。

7	向田	施策21 SNS等の適切な利用についての指導 個人情報保護法の取り扱いでなかなか踏み込んだ指導が出来ない所があるのかも知れませんが、旭川の中学2年生の凍死事件は他人事ではありません。特に中学生のSNSは大人が考えているより簡単に他人の情報を拡散している状況が見受けられます。早急に対策を講じるべきと考えます。	意見	教育支援課	▶SNS等の適切な利用については、小中学校における情報モラル教育の中で指導されています。GIGAスクール構想により一人1台端末が配布されることから、GIGA端末の使用法だけではなく、家庭内における児童生徒のスマホ、ゲーム機、インターネット等を正しく利用する知識や能力を身に着けるための啓発を行うとともに、家庭内のルールづくりが行えるような取り組みを行っていきます。
8	伊井	コロナ禍における「生活リズム」の維持改善への対策を望みます。	意見	社会教育課	▶望ましい生活習慣定着の推進を充実させるため、引き続き「生活習慣改善チラシ いしかりふれあいDAY」の活用促進、「早寝早起き朝ごはん」運動などに取り組み、児童生徒や保護者等へ生活リズムの維持改善を啓発して参ります。
9	大橋	「生活リズムチェックシート」が児童生徒の生活習慣の改善に効果を上げていることを評価します。今後も取り組みの推進を期待します。	意見	社会教育課	▶生活リズムチェックシートの結果は、各学校が取りまとめ、生活指導に活用されており、今後も引き続き事業を実施してまいります。

【目標Ⅲ ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる】

基本方針5 学びを活かす地域社会の実現(原案32～34ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	多くの高齢者がyoutubeなどにアクセスしたいコンテンツ、アクセスを可能にする講座などが開講されればよいですね。	意見	社会教育課 市民図書館	▶社会教育関係課で連携し、これまで動画視聴等に馴染みの薄かった高齢者等へ向けて、パソコンやスマートフォンを使った講座等の実施について検討してまいります。
2	向田	新型コロナウイルス感染拡大の中、様々な工夫をされながら情報発信されたと思います。市内の様々な教育団体と連携をとりながら文化・芸術が今後も発信し続けられる環境を整えて頂けるように望みます。	意見	社会教育課	▶今後も引き続き、市ホームページ等を活用して関係団体の情報を発信し、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を注視しつつ、関係団体の活動の場の整備、発表の場の創出に努めてまいります。
3	大橋	「石狩市民カレッジ」、「石狩市に合プラザはまなす学園」が、コロナ禍の中、工夫して講座開催されていることを評価します。今後も講座の充実を期待します。	意見	社会教育課	▶今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、魅力的な講座の充実を図り、市民の興味関心に働きかける工夫や周知に取り組んで参ります。
4	伊井	コロナ禍での(地元)芸術家・演奏家への支援を目的とした活動企画を望みます。	意見	社会教育課	▶ロビー展・ロビーコンサートや芸術文化奨励補助金を通じて、芸術文化活動を担う人材に発表の場の提供や支援を続けて参ります。

5	伊井	オンライン／対面のバランス良いイベント企画をウイズコロナ時代にあっても継続されることを望みます。	意見	社会教育課 市民図書館	▶対面での実施が難しい状況ではありますが、web等を活用しつつ安全策を講じた上でリアルな体験ができるイベント形態も模索し、引き続き市民のニーズに応えられるイベントの開催を行ってまいります。
6	大橋	科学の祭典で、webでの映像配信など工夫された取り組みを評価します。今後も取り組みの工夫・充実を期待します。	意見	市民図書館	▶web上でのリアルなやり取りなど、動画配信だけでなくwebの活用についても研究し、工夫しながらイベントの充実を図ってまいります。

基本方針6 ふるさとを学ぶ機会の充実(原案35～36ページ)

No	委員	意見等	区分	担当	回答等
1	伊井	資料館への入館者増だけでなく、オンラインコンテンツへのアクセス者数の増加を通して、石狩文化の魅力が多く発信できればよいですね。	意見	文化財課	▶アクセス数の増加につながるようオンラインコンテンツの充実を図っていききたいと思います。
2	伊井	旧石狩小学校の魅力的な活用を楽しみにしています。	意見	文化財課	▶一般公開を通じて円形校舎への関心を高めながら、改修等の時期を図っていききたいと思います。
3	向田	今後も歴史ある石狩市の文化を守り、継承して行く事を望みます。	意見	文化財課	▶石狩文化の継承につながるよう調査研究を充実させて行きたいと思っています。